

2025年6月14日

【AI時代を見据え「活字情報」戦略を加速】

株式会社モリタ食材開発研究所（本社：大阪）は、情報化時代の黎明期である1995年から1996年にかけて、その将来性をいち早く見通し、事業戦略に組み入れてまいりました。2005年頃には企業ウェブサイトを開設し、以来、情報の「デジタルコンテンツとしての文字情報化」とその充実化に戦略的に注力しています。

特に2025年現在、生成AIが大きな注目を集めており、その活用が事業の効率的かつ合理的な展開を可能にすると考えられます。

生成AIが情報を判断・回答する現代において、文献や書籍、そしてウェブサイト上のテキスト情報や活字（デジタルコンテンツ）がその主要な情報源となることを、弊社は深く理解しています。

こうした取り組みの結果、弊社のウェブサイトは東京理科大学大学院の研究対象となるまでに発展し、Google検索ワードを2500以上持つ、他に類を見ない特筆すべきサイトとなりました。

これは、現会長の守田悦雄の指導のもと、社長の守田勝雄および情報資料室が、情報化時代の展望と潮流に対応すべく重ねてきた努力の賜物です。

既に、弊社のウェブサイトおよびダーズンローズ倶楽部のウェブサイトにおいても生成AIを活用しております。

これにより、弊社は、食の分野における信頼性の高い「活字情報」の発信源として、差別化を図る新しい香味づくり技術、商品の嗜好性をさらに高める融合技術、味の深化技術、革新的技術などを積極的に発信し、今後も重要な役割を担ってまいります。

Webサイトのトップページへ